

かじや知宏の

枚方

あちこち
ウォッチング

第2号 平成18年8月

枚方市北山1丁目23-57
電話:072-809-0733
FAX:072-851-5651
E-mail:tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com/>

●プロフィール

昭和43年9月12日生まれ。37歳。行政書士、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事兼事務局長。
<経歴> 阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)



市役所ってどんな仕事をしているの？

皆さんの納めた税金で約1400もの仕事を行っています

市役所ってどんな仕事をしているかご存知ですか？ 「住民票など証明書の発行」や「家庭ごみの収集」など、10件も思い当たればよい方ではないでしょうか。実は枚方市では約1400もの仕事を行っているのです。

では、この1400の仕事って、実際にどのようなものでしょうか？ そこで、平成18年度に予算計上されている事業の一部を「広報ひらかた」に掲載されているものからピックアップしてみました。絶対必要なもの、無くてもすぐには困らないもの、将来のために必要なもの、必要ないものなど、考え方は人それぞれですが、皆さんの納めた税金がどのように使われているのか、考えるきっかけになればと思います。

平成18年度 枚方市の主な事業

事業名	概要	予算額
牧野駅前広場の整備	駅前整備に係る事業計画作成などの委託料	5129万円
安心安全基金の設立	施設の耐震化や防災・防犯対策などに活用する基金を設立	1億2004万円
AEDの設置	全小中学校に心停止で倒れたときの救命に効果のあるAEDを設置	2000万円
夜間保育の実施	午後10時までの夜間保育を実施	6563万
緑の学校園づくり	小学校や幼稚園でつる性植物の栽培や芝生を整備	1615万円
里山の森林保全・整備	津田山の森林保全・整備などを行うボランティアを育成	3650万円
自治会館建設への補助	自治会館の用地取得や新・改築のための補助	6434万円
小中学校一貫の英語教育	小学校4校、中学校4校で英語の一貫教育を実施	1081万円
樟葉宮1500年記念事業	「歴史フォーラム」などのイベントを開催	330万円
包括外部監査関係経費	公認会計士との契約による包括外部監査の実施	1004万円

<裏面もご覧下さい>

かじや知宏の提言 1

公共サービスのあり方を見直し、すべての世代が安心して心豊かに暮らせるまちへ

無料で利用している公共サービスも、税金という形で市民がコスト負担

枚方市の平成18年度の一般会計予算は1034億円、市民一人当たりで換算すると約25万円になります。市はこの限られた予算の中でさまざまな公共サービスを行っています。もちろんこの予算の大部分は、皆さんの納めた税金です。普段何気なく無料や低料金で利用している公共サービスも、実は税金という形で皆さんがサービスコストを負担しているのです。

少子高齢化で税収の減少や福祉経費の増大が懸念

これからの日本の社会は少子高齢化の時代に突入します。社会を支える世代の減少に伴って、税収が減少するにも関わらず、高齢者を中心として公共の福祉サービスを受ける人は増え、福祉経費の増大が懸念されています。もちろん枚方も例外ではありません。

本当に必要なサービスには予算を重点配分

このような状況を考えると、現在の「あれも作ります」「これも増やします」の構造のままでは、子どもや孫の世代に莫大な負担を押し付けることになってしまいます。世代間の負担を公平化し「すべての世代が安心して心豊かに暮らせる」ようにするには、一切の既得権を白紙に戻すことで現在の公共サービスのあり方を見直し、本当に必要なサービスには重点的に予算配分を行い、あまり必要でないサービスは思い切って削ることが必要ではないでしょうか。

(次号に続く)

「枚方あちこちウォッチング」3つの基本方針

特定の団体の代弁者ではなく、自立した市民の立場で発言します

皆さんの納めた税金の使い道を、市民の目線でチェックします

枚方市政の現状や問題点などを市民の皆さんにわかりやすくお伝えます

駅前報告実施中

牧野駅・長尾駅で市政情報を発信しています

毎週月～金曜日の5日間、午前6時40分頃～8時30分頃(日によって多少前後します)に駅前5ヶ所(京阪牧野駅、JR長尾駅の各入口)で「枚方あちこちウォッチング」の配布や、その内容の報告をさせていただいています。なお、予定がある日や天候の悪い日は休ませていただく場合がありますのでご了承ください。

